

2026年度 JAIM賛助会員向けサービス一覧

2026年4月

2026年度 賛助会員向けサービス一覧①

分類	項目	時期	概要イメージ
1. 共通基盤整備	①賛助会員・外国人材向け相談窓口の設置・運営	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> 企業向け相談窓口・外国人材向け相談窓口を運営 本年度は、新規産業分野追加に伴う会員増加を見込み、運営体制を一層強化
	②JAIMポータルサイト機能強化	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> JAIMポータルサイトの運営、賛助会員申請受付、各種資料公開、多言語翻訳機能などを提供中 本年度は、更なる利便性の向上のためリニューアル予定
2. 情報提供、 (受入れ事業所向け)	①会員限定セミナー	2026年秋頃	<ul style="list-style-type: none"> 「特定技能2号外国人が働く企業の優良事例・育成計画」を紹介するセミナーを実施
	②外国人を指導する日本人のための研修	2026年夏頃	<ul style="list-style-type: none"> 外国人と日常的に仕事を行う日本人のための研修を実施
	③特定技能外国人のキャリア形成に関するガイドブック	2027年冬頃	<ul style="list-style-type: none"> 特定技能外国人のキャリア形成を促し、事業所における育成・定着に資するガイドブックを作成
3. 日本語教育、 社会文化研修 (外国人本人向け)	①特定技能外国人への日本語教育講座	2026年夏頃	<ul style="list-style-type: none"> 特定技能外国人を対象に、オンライン日本語教育講座を実施
	②製造現場における日本語コミュニケーション講座	2026年秋頃	<ul style="list-style-type: none"> 特定技能外国人を対象に、労働安全衛生をはじめとした製造現場における日本語でのコミュニケーションの講座を実施
	③社会文化研修	2026年夏頃	<ul style="list-style-type: none"> 特定技能外国人を対象に、日本において社会ルールを守りつつ円滑に日常生活を送るために必要な生活マナー等を学ぶプログラムを実施

2026年度 賛助会員向けサービス一覧②

分類	項目	時期	概要イメージ
4. 技能評価試験対策 (外国人本人向け)	①製造分野特定技能評価試験 学習用参考テキスト	2026年夏頃以降 (作成次第順次)	<ul style="list-style-type: none"> 試験対策を見据えた教材等を作成、展開
	②製造分野特定技能評価試験 学習用参考テキスト概説講座	2026年秋頃	<ul style="list-style-type: none"> 学習用参考テキストをもとに2号評価試験の受験予定者を対象とした概説講座を開催
5. その他 (非会員も対象に含む情報提供等)	①メールマガジン配信	継続実施 (毎月1回程度)	<ul style="list-style-type: none"> メルマガ会員の受付、情報提供実施
	②セミナー開催(国内/海外)	2026年秋頃	<ul style="list-style-type: none"> 国内事業者向けセミナーとして、申請書類の書き方、優良な受入れ事例の紹介等を実施 海外人材向けセミナーとして、製造分野特定技能評価試験開催国の公用言語で、特定技能制度・試験の紹介等を実施

※ 本資料に記載の計画・内容は、今後の状況等により変更となる場合があります。

2026年度 賛助会員向けサービス(1/7)

1. 共通基盤整備

① 賛助会員・外国人材向け相談窓口の設置・運営

継続実施

- 企業向け相談窓口を設置し、賛助会員企業からの各種問合せや相談に迅速かつ的確に対応。
 - ・ 相談件数の増加や多様化するニーズに対応するため、スタッフの増員や研修の充実、システムの拡充等を実施。
 - ・ 本年度は、新規産業分野追加に伴う会員増加を見込み、運営体制を一層強化。
- 外国人材向け相談窓口も設置し、日本語を含む6言語程度(海外試験開催国の言語)で対応。

② JAIMポータルサイト機能強化

継続実施

- JAIMポータルサイトにて、以下のようなコンテンツの製作、各種資料公開などを実施中。
 - ・ 賛助会員申請受付
 - ・ 動画による賛助会員入会案内
 - ・ FAQのWeb検索システムの運営
 - ・ 外国人関連ビックデータ可視化ページ「データで見る特定技能外国人」の公開・更新
 - ・ 多言語翻訳機能(英語・ベトナム語・インドネシア語・ミャンマー語(海外試験開催国に対応))
- 2026年度は、上記内容の更新や更なる利便性の向上を目指したトップページのリニューアル等を予定。

2026年度 賛助会員向けサービス(2/7)

2. 情報提供(受入れ事業所向け)

① 賛助会員限定セミナー

2026年秋頃

- 賛助会員に聴講者を限定したセミナーを企画。
- 想定しているコンテンツは以下のとおり(以下の中から、いくつかを組み合わせることで実施を想定)。
 - ・ 制度面の変更点や各種申請等に関する説明
 - ・ 特定技能2号外国人の活用企業の事例紹介、特定技能2号取得までの道筋、取組紹介
 - ・ 特定技能2号外国人本人の声の紹介、2号取得後の今後の展望・キャリアアップの道筋
 - ・ 賛助会員アンケート・各種ヒアリング等の調査結果報告 等

② 外国人を指導する日本人のための研修の開催

2026年夏頃

- 外国人の育成・定着を促進し、日本人指導者の指導力・コミュニケーション力の向上を目的とした研修を実施。
 - ・ 指導者側の目線から、異文化理解や外国人にわかりやすい指導方法、現場での課題対応力を身につけ、外国人の育成・定着を促進する研修。
 - ・ 実施形式:オンライン形式
- 受講対象者は、外国人と日常的に仕事を行う現場指導者(班長・リーダー・教育担当者など)や人事・管理部門担当者を想定。

2026年度 賛助会員向けサービス(3/7)

2. 情報提供(受入れ事業所向け)

③ 特定技能外国人のキャリア形成に関するガイドブックの作成

2027年冬頃

- 特定技能外国人のキャリア形成支援を目的としたガイドブックを作成。
- 作成にあたっては、賛助会員に対するヒアリング調査等を実施し、工業製品製造業の現場の実態やニーズを反映した内容とする。
- ガイドブックは、主に受入れ事業者を読者と想定した内容としつつ、特定技能を目指す外国人、特定技能外国人本人にとってとって有用な情報を盛り込み、キャリアパスの明確化や定着支援に資するものとする。

2026年度 賛助会員向けサービス(4/7)

3. 日本語教育、社会文化研修(外国人本人向け)

①

特定技能外国人への日本語教育講座の実施

2026年夏頃

【(1)N3対策講座】

- 特定技能1号外国人向けに、将来的に特定技能2号移行時に求められることが見込まれるレベル(日本語能力試験N3相当)の試験に合格し、管理者として高いコミュニケーション能力を身に付けることを目的としたオンライン日本語教育講座を実施。
- 受講対象者は、区分や母語を問わずに、賛助会員となっている事業所に雇用されている特定技能1号外国人とする。2号への移行時期が近い方を優先。
- 1講座・全22回シリーズで、年間3講座を実施予定。

【(2)N4対策講座】

- 特定技能1号外国人向けに、基礎の再確認、実践的な日本語力の底上げ、N3対策講座へのスムーズな移行などを目的とし、日本語能力試験N4相当のオンライン日本語教育講座を実施。
- 受講対象者は、区分や母語を問わずに、賛助会員となっている事業所に雇用されている特定技能1号外国人とする。
- 1講座・全22回シリーズで、年間3講座を実施予定。

2026年度 賛助会員向けサービス(5/7)

3. 日本語教育、社会文化研修(外国人本人向け)

② 製造現場における日本語コミュニケーション講座

2026年秋頃

- 賛助会員において就労している特定技能外国人等を対象に、労働安全衛生をはじめとした製造現場における日本語でのコミュニケーションの講座を実施する。
 - ・ 実施形式:オンライン
 - ・ 2時間程度の講座を、年10回程度実施。

③ 文化研修プログラムの実施

2026年夏頃

- 特定技能外国人が日本で安心して働き、生活できるよう、生活マナー・ビジネスマナー・製造業知識など、日常に必要な基礎知識を多言語で学ぶ研修を実施する。
 - ・ 日本での生活や職場で役立つテーマを分かりやすく解説し、特定技能外国人の育成・定着を促進する。
 - ・ テーマは、「生活マナー編」・「ビジネスマナー編」・「製造業知識編」などを想定。各1.5時間程度で、年2回開催。
 - ・ 実施形式:オンラインセミナー(同時通訳対応:英語・インドネシア語・ベトナム語・ミャンマー語)
- 受講対象者は、区分や母語を問わずに、賛助会員となっている事業所に雇用されている特定技能外国人を想定。

2026年度 賛助会員向けサービス(6/7)

4. 技能評価試験対策

① 製造分野特定技能評価試験 学習用参考テキストの作成

2026年夏頃以降
(作成次第順次)

- 2025年度以降、1号評価試験及び2号評価試験の受験に向けた学習の参考となるテキストを試験区分ごとに作成し展開している。
- 2026年度は、作成済テキストの改訂、翻訳版の拡大、テキスト未作成の新規試験区分のテキスト作成を実施。
 - ・ 安全衛生や品質管理といった基礎的な内容から各技能(機械金属加工区分における鋳造や鍛造など)に関する専門的な内容まで幅広く学ぶことができ、就労の現場でも役立つものとする。

対象試験区分	公開
機械金属加工区分、電気電子機器組立て区分、金属表面処理区分	公開中(一部改訂予定)
紙器・段ボール箱製造区分、コンクリート製品製造区分、RPF製造区分、陶磁器製品製造区分、印刷・製本区分、紡織製品製造区分、縫製区分	2026年度中

※ 2026年度に追加された7区分(電線・ケーブル製造区分、プレハブ住宅製品製造区分、家具製造区分、定形・不定形耐火物製造区分、生コンクリート製造区分、ゴム製品製造区分、かばん製造区分)については、2027年度以降に公開予定。

② 製造分野特定技能評価試験 学習用参考テキスト概説講座の実施

2026年秋頃

- 特定技能2号評価試験の受験予定者向けに学習参考用テキストを用いた概説講座をオンラインで実施。
 - ・ 試験概要を説明するとともに、上記のテキストを用いながら問題例の解説などを行うことで、試験のイメージや受験に向けた準備の足掛かりとする。
 - ・ 試験区分ごとに実施し、1回完結型で2時間程度を、年2回実施。
 - ・ 対象試験区分:機械金属加工区分、電気電子機器組立て区分、金属表面処理区分(2号評価試験の実施試験区分)
 - ・ 実施言語:日本語のほかベトナム語、インドネシア語、ミャンマー語、英語(試験実施国に対応)
- 受講対象者は、賛助会員となっている事業所に雇用されている特定技能外国人を想定。

※ なお、本頁①・②は、公平性の観点から、試験問題を作成する有識者委員会は基本的に関与しない。

2026年度 賛助会員向けサービス(7/7)

5. その他(非会員も対象に含む情報提供等)

①

メールマガジン配信

継続実施

- JAİMでは、2025年10月以降、月1でメールマガジンを配信(非会員でも無料で登録可能)。
- 主に賛助会員や賛助会員を支援する登録支援機関等を念頭に、以下のような情報を配信。
 - ・ 特定技能外国人等に関わる閣議決定情報、制度面の変更、関連調査結果
 - ・ 送出国の基礎情報・文化の紹介、受入れ企業事例紹介等

②

セミナー開催(国内/海外)

2026年秋頃

【国内向け】

- 特定技能外国人を雇用している、または雇用意思のある国内企業担当者を対象にオンラインセミナーを実施。
- 想定しているコンテンツは以下のとおり(以下の中から、いくつかを組み合わせる想定)。
 - ・ 法令等の改正に伴う制度説明
 - ・ 特定技能試験に関わる案内(試験概要、申込みや合格後の手続)
 - ・ 各種申請書・報告書類の書き方の説明
 - ・ 好事例事業者の紹介

【海外向け】

- 日本で働くことを希望する外国人材、または送出し機関や日本語学校等の海外現地の人材送出しに関わる機関を対象にオンラインセミナーを実施する。想定しているコンテンツは以下のとおり。
 - ・ 特定技能制度の概要説明
 - ・ 日本で働く特定技能外国人について事例紹介動画の放映
 - ・ 特定技能試験に関わる案内(試験概要、申込みや合格後の手続、各国言語での案内)